

〔科目名〕				〔単位数〕		〔科目区分〕	
組織論				4 単位		専門科目 基礎科目	
〔担当者〕		〔オフィス・アワー〕			〔授業の方法〕		
長谷川直樹 HASEGAWA Naoki		時間:第 1 回目の授業で提示する。 場所:501 研究室			講義		
〔科目の概要〕							
経営組織を学問的に研究し始めたのは、まだ 100 年と数十年前のことでした。さらに、組織が個人に取って代わって、社会の主人公になったのが、1930 年代後半のことです。それ以来、組織はどの国においても個人を圧倒する存在として今日まで存続しています。その理由は、組織が持つ資源（例えば、人材、資金、施設・設備、情報など）の質と量の違いにあります。組織は、これらの資源を個人より豊富に持つので、個人よりもはるかに有利な地位を社会で得たのです。組織の内部および外部環境のニーズを反映するため、組織がどのように機能し、開発し、変革する必要があるのかなど一連の活動を学ぶのが、組織論になります。 経営学における組織論は、120 年にわたり理論発展をとげました。組織論は、20 世紀最後までの標準的な理論をカバーする。知的巨人たちが提唱したこれらの理論は、それぞれが社会経済状況を背景に導出された経営学における組織の「思想」でもある。このような背景を検討することは、組織論の知識を得るだけでなく、自分の人生も豊かにするものである。他の経営学関連科目の基礎ともなるので、資格取得、大学院進学、公務員採用試験選択科目などの受験に役立つ。また、家業を継ぐ、会社を起こす、優良企業に就職したい、企業活動に興味・関心を持っているなどの受講生は授業の狙いと一致しています。 経営学科のカリキュラム・ポリシー2 にある「組織と個人の関わり合い」、「組織における複雑な人間関係の問題」、「多人数の協働を確立」、「維持・発展できる人材を育成」これらについて学ぶ科目です。 講義内容は、組織に関する制度と構造および人間行動、協働などに関連する複数の組織理論について説明します。講義は、パワーポイントを用いて行います。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕							
受講生は、1.経営目的を達成するために組織と管理が一体となって発展してきたことが学習できる。2.組織理論の発展に関わる時代背景・時代精神と共に、3.その主要な論点と概念を理解した内容を説明できるようになる。4.絶えず変化し続ける「組織」が抱える問題点と解決案模索に対する洞察力と知識を深化できるようになる。5.学習した理論同士を結びつけることにより経営実践にも役立てることができる。 組織論で検討する基礎的な理論・学説は、資格試験・公務員試験・就職試験・大学院入学試験などでも出題されている内容である。 本科目「組織論」は、「経営経済の専門性をもった教養人の育成」(AP1)、「常になぜかの問いを発し、自分の頭で考えるための知識訓練とそこからの創造性を育む。広い視野を醸成し、問題意識を発展させられるような学びの機会を提供する。」(CP1)、「経営学・経済学分野における知識を体系的に学び、複雑化する現代社会を複眼的な視点で捉えることができる。」(DP1)、を促進する科目です。							
〔科目の到達目標〕							
中間目標							
経営組織論の研究潮流を体系的に理解し、説明できるようになる。							
組織と個人の関係性について理解し、説明できるようになる。							
最終目標							
組織の特性・構造・行動などの理解に基づき、学習した諸理論や知識を説明することができるようになる。							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2 ○	DP3	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕							
聞き取りやすい説明をする。							

〔教科書〕 安藤史江,稲水伸行,西脇暢子,山岡 徹(2019)『経営組織(ベーシック+)』中央経済社	
〔指定図書〕 藤田誠(2015)『経営学入門(ベーシック+)』、中央経済社 上野恭裕, 馬場大治(2016)『経営管理論(ベーシック+)』、中央経済社 開本浩矢(2019)『組織行動論 (ベーシック+)』、中央経済社 渡辺深(2007)『組織社会学』、ミネルヴァ書房 角野信夫(2001)『経営組織』、サイエンス社	
〔参考書〕 鈴木竜太(2018)『経営組織論』、東洋経済新報社 高松和幸(2020)『[新版]経営組織論の展開』、創成者 高尾義明(2019)『はじめての経営組織論』、有斐閣ストゥディア 金井壽宏(1999)『経営組織』、日本経済新聞社 ヘンリー・ミンツバーグ池村千秋訳(2011)『マネジャーの実像』、日経 BP 社	
〔前提科目〕 経営学基礎論	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 課題(小テスト・レポート・リアクションペーパー)(40%) 学期末試験の結果(60%) 学期末試験の内容等については、試験前の授業時に説明します。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 関連用語について調べる(事前学習)。 授業に出席し、ノートを取る(授業中)。 授業後に 200 字程度の要約を作る(事後学習)。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか):組織について学ぶ。 内 容:前半は、授業の進め方について説明する。後半は、「組織とは何か」について説明する 教科書・指定図書:安藤他 第 1 章 組織とは何か
第 2 回	テーマ(何を学ぶか):組織・管理原則論 内 容:アンリ・ファヨールの管理過程論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 2 章 組織の基礎理論
第 3 回	テーマ(何を学ぶか):科学的管理法 内 容:フレデリック・テイラーの科学的管理法について説明する。 教科書・指定図書::安藤他 第 2 章 組織の基礎理論
第 4 回	テーマ(何を学ぶか):組織構造論 内 容:企業の組織構造について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 3 章 組織構造と組織デザイン

第 5 回	テーマ(何を学ぶか):官僚制組織論 内 容:マックス・ウェーバーの官僚制組織論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 2 章 組織の基礎理論
第 6 回	テーマ(何を学ぶか):人間関係論 内 容:メイヨー&レスリスバークの人間関係論について説明する 教科書・指定図書:上野&馬場 第 3 章 マネジメントの誕生
第 7 回	テーマ(何を学ぶか):近代組織論 内 容:チェスター・バーナードの近代組織論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 2 章 組織の基礎理論
第 8 回	テーマ(何を学ぶか):意思決定論Ⅰー限定された合理性 内 容:ハーバート・サイモンの合理性の限界と組織の意思決定について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 2 章 組織の基礎理論 第 6 章 組織の意思決定
第 9 回	テーマ(何を学ぶか):意思決定論Ⅱーゴミ箱モデル 内 容:ジェームズ・マーチの組織におけるあいまいさについて説明する 教科書・指定図書:安藤他 第 6 章 組織の意思決定
第 10 回	テーマ(何を学ぶか):制度的組織論 内 容:フィリップ・セルズニックの制度的組織論について説明する。 教科書・指定図書:渡辺 第 8 章 制度理論
第 11 回	テーマ(何を学ぶか):行動科学的組織論 内 容:ダグラス・マグレガーの行動科学的組織論について説明する。 教科書・指定図書:角野 第 8 章 人間の組織ー人間活動の体系
第 12 回	テーマ(何を学ぶか):モチベーション論Ⅰー内容理論 内 容:フレデリック・ハーズバーグの二要因理論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 4 章 組織におけるモチベーション
第 13 回	テーマ(何を学ぶか):モチベーション論Ⅱー過程理論 内 容:ビクター・ブルームの期待理論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 4 章 組織におけるモチベーション
第 14 回	テーマ(何を学ぶか):組織の集団理論 内 容:アーヴィング・ジャニスの集団に関する理論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 5 章 集団力学
第 15 回	テーマ(何を学ぶか):リーダーシップの行動理論 内 容:三隅二不二の PM 理論について説明する。 教科書・指定図書:開本 第 9 章 リーダーシップ
第 16 回	テーマ(何を学ぶか):リーダーシップの状況適応理論 内 容:ハーシー&ブランチャードの SL 理論について説明する。 教科書・指定図書:藤田 第 10 章 リーダーシップ
第 17 回	テーマ(何を学ぶか):変革型リーダーシップ論 内 容:バス&アボリオの変革型リーダーシップ論について説明する。 教科書・指定図書:開本 第 9 章 リーダーシップ
第 18 回	テーマ(何を学ぶか):組織の条件適合理論Ⅰー機械的組織&有機的組織 内 容:バーンズ&ストーカーの機械的組織と有機的組織について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 8 章 組織構造のダイナミクス 角野 第 6 章 環境適応の組織論

第 19 回	テーマ(何を学ぶか):組織の条件適合理論Ⅱ—分化と統合 内 容:ローレンス&ローシュのコンティンジェンシー理論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 8 章 組織構造のダイナミクス 角野 第 6 章 環境適応の組織論
第 20 回	テーマ(何を学ぶか):企業戦略論 内 容:イゴール・アンゾフの企業戦略論について説明する。 教科書・指定図書:上野&馬場 第 10 章 企業戦略のマネジメント
第 21 回	テーマ(何を学ぶか):組織間関係論 内 容:マーク・グラノヴェッターの弱い紐帯理論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 9 章 組織間関係
第 22 回	テーマ(何を学ぶか):キャリア開発論 内 容:エドガー・シャインのキャリア開発論について説明する。 教科書・指定図書:開本 第 5 章 キャリア・マネジメント
第 23 回	テーマ(何を学ぶか):組織文化論 内 容:ピーターズ&ウォーターマンの組織文化論について説明する。 教科書・指定図書:開本 第 12 章 組織文化
第 24 回	テーマ(何を学ぶか):組織変革論 内 容:ジョン・コッターの組織変革論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 10 章 組織変革の捉え方 第 11 章 組織変革の進め方
第 25 回	テーマ(何を学ぶか):管理者行動論 内 容:ヘンリー・ミンツバーグの管理者行動論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 12 章 組織のパラドックス
第 26 回	テーマ(何を学ぶか):組織的知識創造論 内 容:野中郁次郎&竹内弘高の知識創造論について説明する。 教科書・指定図書:開本 第 10 章 組織学習
第 27 回	テーマ(何を学ぶか):組織学習論 内 容:クリス・アージリスのダブル・ループ学習について説明する。 教科書・指定図書:開本 第 10 章 組織学習
第 28 回	テーマ(何を学ぶか):新制度派組織論 内 容:ディマジオ&パウエルの新制度派組織論について説明する。 教科書・指定図書:渡辺深 第 8 章 制度理論
第 29 回	テーマ(何を学ぶか):資源依存理論 内 容:フェッファ&サラシックの資源依存理論について説明する。 教科書・指定図書:渡辺深 第 6 章 資源依存理論
第 30 回	テーマ(何を学ぶか):組織生態学 内 容:ハナン&フリーマンの組織エコロジー理論について説明する。 教科書・指定図書:安藤他 第 13 章 流されず、しなやかに
試 験	期末試験を行います。